

図書館だより

令和5年 4月 10日(月)
No. 1 館林高校図書委員会

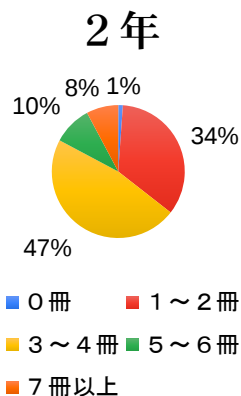
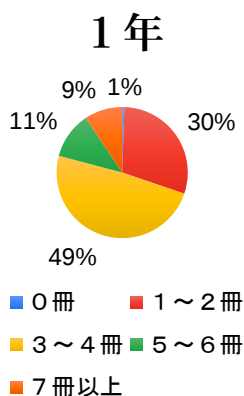
本との出会い大切に!

令和4年度図書館アンケート集計結果

2023年3月2日に図書館アンケートを配信しました。回答してくれたのは390人中362人で92%の回答率でした。多くの方が回答してくれて嬉しいです。ありがとうございました。4つの質問について回答結果は、以下の通りです。グラフの数字は人数でその割合を円グラフであらわしてあります。※1年→現2年 2年→現3年です

1 あなたは今年度(令和4年度)中に何冊の本をよみましたか。

	1年	2年	合計
(1) 0冊	1	2	3
(2) 1~2冊	54	62	116
(3) 3~4冊	89	85	174
(4) 5~6冊	21	17	38
(5) 7冊以上	17	14	31
合計	182	180	362

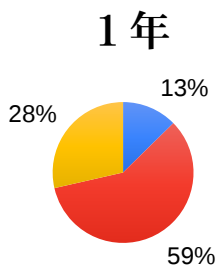


3~4冊程度読んでいる人が、48%と最も多くなっています。新書読破月間や夏休みの読書感想文が課題になっているためかもしれません。0冊の人は年々減少していますが、1割弱います。本校の図書部では「年間7冊以上読んでいる生徒が5割以上」になることを目標にしていますので残念ですね。1~2ヶ月で1冊ペースで読めば年間7冊以上は読めますので、まずはそのくらいのペースで読書を楽しんで欲しいですね。

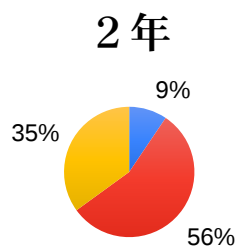
2 あなたは「図書館だより」をよんでいますか。

	1年	2年	合計
(1) ていねいによむ	23	17	40
(2) ちょっと目をとおす	107	100	207

全体では68.2%の皆さんが読んでくれていますが、32%もの人が読まないと回答しています。残念ですね。新着図書や先生や図書委員のお薦めの本など、読書について興味を持ってもらえるよう工夫しているので、とにかく目を通して見て下さい。



■ ていねいに読む。 ■ 斜めに読む。 ■ 読まない。



■ ていねいに読む。 ■ 斜めに読む。 ■ 読まない。

3 あなたは館林高校の図書館を利用していますか。 4 あなたは本をよむとき、その本をどのように手にいれますか。

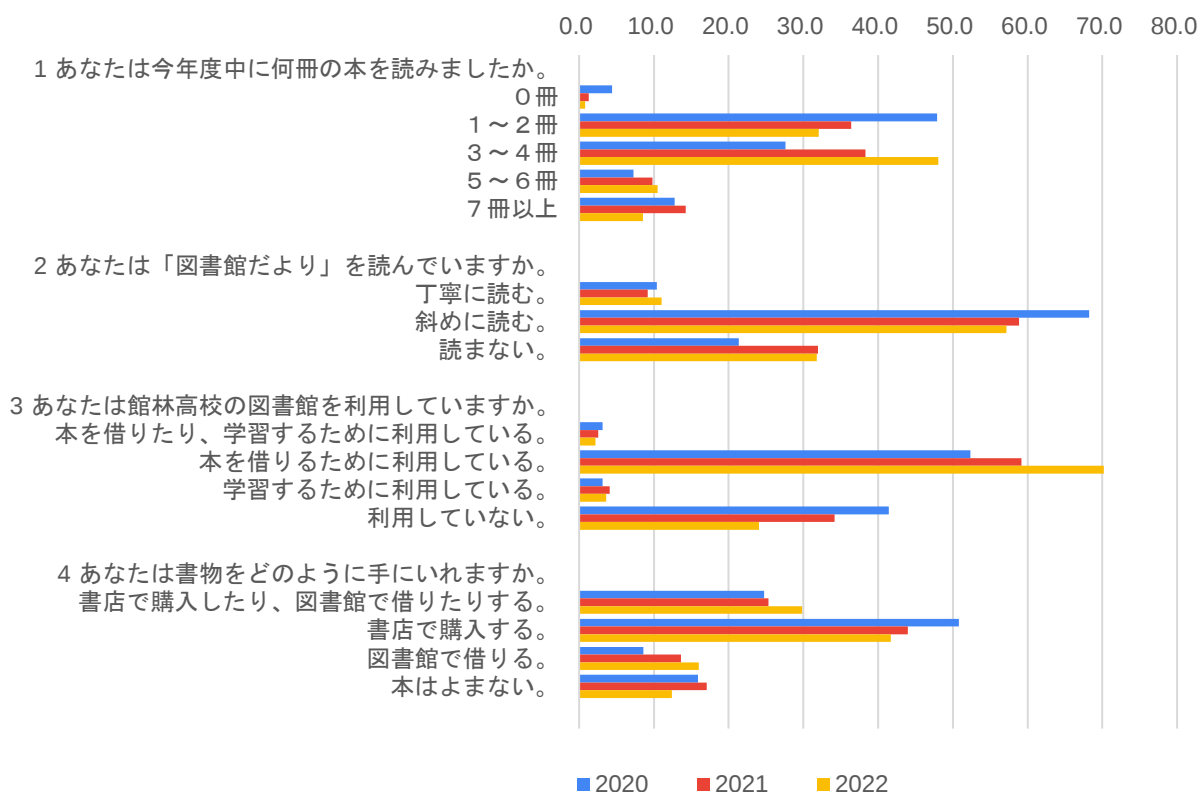
	1年	2年	合計
(1)本を借りる、学習	6	2	8
(2) 本を借りるため	129	125	254
(3) 学習するため	10	3	13
(4) 利用していない	37	50	87
	182	180	362

	1年	2年	合計
(1) 自分、図書館	56	52	108
(2) 自分で買う	84	67	151
(3) 図書館でかりる	29	29	58
(4) 本はよまない	13	32	45
	182	180	362



図書館の利用率は76%で多くの方が来館して本を借りています。本を手に入れる手段として、書籍を購入する生徒が42%で最も多い事も図書館利用と関係があるかもしれません。どんな形でも本を読むのことは良いことです。でも、最近書籍も高価になっていますので、是非読みたい本を図書館にリクエストして下さい。学校以外の図書館からも借りることができます。

3年間の比較 (%)



過去のアンケート結果と比較すると、年間読書量が0である人が毎年減っていることは、素晴らしいことです。ただ、「図書館だより」を読まない人が増えているのは悲しいですね。希望する内容があれば、リクエストして下さい。図書館の利用率が増加し、特に本を借りるだけでなく学習利用者が増えています。多くの人に図書館を活用して欲しいですね。また、書物の入手方法として書店で購入するひとが減少し、図書館で借りるが増えています。本を読まない人は、昨年度は減りました。ひとり年間4冊の読書が課題になっているのだからせめて4冊は読んで欲しいですね。今年度もみなさんの興味を引くような本を購入できるように努めますので、たくさん本を読んで知識を身につけてください！また3月にアンケート実施予定です(1, 2年生)。この結果を参考にして、自分の読書活動につなげてみましょう。



館林高校図書館へおいでよ！



2・3年生はもう一度復習！図書館の便利な利用法を教えます。

1年生は今後の図書館オリエンテーションで詳しく説明します。

① 図書館間相互貸借サービス

どうしてもこの本が読みたい！でも本屋にも図書館にもない。そんな時には司書に言ってください。館高図書館を通して、県立図書館や他の市町村の図書館から本を借りることができます。これを“図書館間相互貸借”といいます。読みたい本を司書に言えば、学校にいる間に他の図書館の本が借りられます！

★利用方法

- ① 司書に依頼。
- ② 依頼したその週か次の週の金曜日に本が届きます。
- ③ 図書館に取りに行く。

☆貸出期間は2～3週間です。

金曜日の昼休みに
取りに来てね。



※1. ただし、郷土資料や出版された年月が新しい資料は、図書館によっては取り寄せできない場合があります。

※2. 他の図書館から借りる本です。大事に扱い、延滞をしないようにしてください。

② 図書館には新聞が4紙と英字新聞があります

- 1日遅れですが、読売新聞・上毛新聞・毎日新聞・朝日新聞があり、3ヶ月間保管してあります。新聞を読むことで読解力・語彙力アップにつながります。
- 「新聞は字が小さいし読むのが苦痛！」という人は、一面の（テレビ欄じゃないよ）見出しをざっと見るだけでも日本や世界情勢が分かるようになります。
- 1週間に1回、「週刊ST The Japan Times」という英字新聞を購入しています。文法解説や英文のニュースに和訳がついているので、読むと日本や世界の情勢を知りつつ英語力が身につきます。毎週月曜日に新しくなります。

③ 雑 誌

図書館には下記の雑誌が置いてあります。

『ニュートン』 『Number』 『SCREEN』 『New type』 『芸術新潮』
『ダ・ヴィンチ』 『AERA』

雑誌の貸出もできます。最新号は1日、バックナンバーは1週間です。

借りる時は、図書委員か司書に声をかけてください。

④ 飲食禁止です！

なぜ飲食禁止か！読んでいる本に食べかすが落ちたり、飲み物をこぼしてしまう

可能性があるからです。

利用マナーを守って快適に図書館を利用してね！

【第十二話】開高健のエッセイが好きだ。

随筆の妙は独自の体験談と個性的な視点にあると思う。「実話」には全く興味をもてない私は「歴史小説」が嫌いである。物語を支えているのは作者の想像力だ。私はイメージインジョンを愛するので説得力のある虚構を構築する作者の技巧を楽しみたい。もちろん「歴史」も虚構の産物である。書かれたものが「歴史」だとしたら、書くという行為には「虚構」が含まれるものだ。でも歴史の前提は「事実」であり、その「事実」は歴史小説作者の想像力で歪められるものではないから、私には面白くない。随筆も実体験が基本にあるのだとしたらそこには興味が湧かない。だからふだん随筆はほとんど読まない。でも開高健は特別なのである。独特の文体とあいまった彼の体験が刺激的だからだろう。開高のエッセイを読むと、奥只見てイワナを釣ったり、ホーチミンでバイナムを食べたり、書斎の薄暗がりやパイプを煙らせたくなる。どれも実際には実現しないけど。やってみたいけど、やらない。やれないことだからやってみたい。そのギリギリのあわいがなんとも私の読書意欲をそそのめるのである。開高健は第二次世界大戦敗戦の混乱をヴァイタリティをもって生き延びた少年であった。彼は「裸の王様」で芥川賞を受賞した小説家であるが、もとを辿れば「寿屋（現サントリ）」で「洋酒天国」という雑誌を編集していたという経歴の持ち主である。だから何？ といわれると困る。朝日新聞の特別特派員としてヴェトナム戦争の最前線に赴き取材をしたジャーナリストでもある。だから何？ といわれてもなお困る。開高健は時代の局面でその時代の空気を深深と吸い込み吐き出した人物だということだ。それがのちのエピキリアンとしての開高を生んだのかもしれない。というのは私の憶測。関連な文体もおそらく彼の人柄を表しているのだろう。私にはエッセイの材料になるほどの体験がない。その貧困の裏返しに想像力志向なのかもね。



お知らせ



☆ 4月の図書館の開館スケジュール

月	火	水	木	金
10	11	12	13	14
17	18	19	20	21
24	25	26	27	28

強歩大会
振替日

斜線が閉館日
です！急な閉館
になることも
あります



☆ 延滞している生徒へ（2・3年生）

春休み期間中に本を借りた人で、まだ返却していない人はすみやかに返却してください！
毎月上旬に督促状を発行しますが、その前に返却するようにしましょう。
返却日は本の一番後ろに日付印が押されています。
本を借りたら、返却日はいつかを必ず確認してください（借りた日から2週間後）。
図書館のカウンター上にも日付サインがあります。

☆ 「館林邑楽地区の司書が選ぶ本の Osusumetter（オスサメッター）」

4月中に配布します。（1年生はオリエンテーションで配ります）
各校の学校司書が最近読んだ本の中からオススメしているので、どの本も読んで損はありません！
コーナーも作成しているので、ぜひ図書館に本を見に来てください。学校にない本もあります。その時はリクエストしてくださいね。

今年の表紙絵は
某アニメモチーフだよ！

